

第一工科大学学生に出前講座

霧島市
上下水道部

水道事業の役割理解

霧島市上下水道部水道工務課は24日、霧島市の現場で出前講座を開いた。第一工科大学工学部環境エネルギー工学科の3年生約20人が参加して、学生や工事現場の見学を通じて、水道事業の役割や重要性について理解を深めた。

現場は、台明寺配水区(中央・清水地区)基幹管路700シールド(浅沼・ヤマグチ・末重特定建設工事共同企業体施工)。座学では、水道工務課工務第2グループの萩原政徳主査と岩城宣文氏が講師を担当し、「安くておいしい水の安定供給のため、管路施設の耐震化や更新、水質管理を実施している」と水道事業の概要を説明した。また、現場見学では浅



霧島市上下水道部水道工務課は24日、霧島市の現場で出前講座を開いた。第一工科大学工学部環境エネルギー工学科の3年生約20人が参加して、学生や工事現場の見学を通じて、水道事業の役割や重要性について理解を深めた。

現場は、台明寺配水区(中央・清水地区)基幹管路700シールド(浅沼・ヤマグチ・末重特定建設工事共同企業体施工)。座学では、水道工務課工務第2グループの萩原政徳主査と岩城宣文氏が講師を担当し、「安くておいしい水の安定供給のため、管路施設の耐震化や更新、水質管理を実施している」と水道事業の概要を説明した。また、現場見学では浅

現場は、台明寺配水区(中央・清水地区)基幹管路700シールド(浅沼・ヤマグチ・末重特定建設工事共同企業体施工)。座学では、水道工務課工務第2グループの萩原政徳主査と岩城宣文氏が講師を担当し、「安くておいしい水の安定供給のため、管路施設の耐震化や更新、水質管理を実施している」と水道事業の概要を説明した。また、現場見学では浅

現場は、台明寺配水区(中央・清水地区)基幹管路700シールド(浅沼・ヤマグチ・末重特定建設工事共同企業体施工)。座学では、水道工務課工務第2グループの萩原政徳主査と岩城宣文氏が講師を担当し、「安くておいしい水の安定供給のため、管路施設の耐震化や更新、水質管理を実施している」と水道事業の概要を説明した。また、現場見学では浅

現場は、台明寺配水区(中央・清水地区)基幹管路700シールド(浅沼・ヤマグチ・末重特定建設工事共同企業体施工)。座学では、水道工務課工務第2グループの萩原政徳主査と岩城宣文氏が講師を担当し、「安くておいしい水の安定供給のため、管路施設の耐震化や更新、水質管理を実施している」と水道事業の概要を説明した。また、現場見学では浅

輝け若人

私は環境緑地系列で土木や造園について学習しています。土木実習は測量やコンクリート工事を行い、造園実習では樹木のせん定や技能検定造園3級の資格取得に向けて取り組ましました。土木・造園実習ともに、地元の実習設計や建設・造園の会社の方々の指導を受けての実習で、プロの技

術を学べたため勉強になりました。特に興味を持った実習は、コンクリート工事のモルタルを使った仕上げ工事と造園実習での四つ目垣の製作です。コンクリートの練り混ぜは砂の含水量によって微妙に水重調整を行う難しさがあり、砂とセメントの配合比が良くないと施工が難しくなります。何度か失敗して、うまく配合できないようになりまし

た。また、暑い時期のコンクリート施工は、時間との勝負で乾く前に作業を済ませないといけない難しさがありました。2年生までは現場監督をしたいと思います。ですが、階段の化粧塗りの実習で左官として

を強く意識するようになりまし。公園の沈下ブロックの修繕を行ったこともありますが、上下左右きれいに並べ高さをそろえたとき、この仕事や達成感はいだと感じました。以前より左官・土工自体が少なくなり、左官職人も少なくなっていると感じます。左官という伝統技術を継承するつもりで頑張ります。一人前になるまで時間がかかり、厳しい世界だと思いますが、一生懸命に努力して周り信頼される左官職人になりたいと思います。

を強く意識するようになりまし。公園の沈下ブロックの修繕を行ったこともありますが、上下左右きれいに並べ高さをそろえたとき、この仕事や達成感はいだと感じました。以前より左官・土工自体が少なくなり、左官職人も少なくなっていると感じます。左官という伝統技術を継承するつもりで頑張ります。一人前になるまで時間がかかり、厳しい世界だと思いますが、一生懸命に努力して周り信頼される左官職人になりたいと思います。

左官職人を目指して

を強く意識するようになりまし。公園の沈下ブロックの修繕を行ったこともありますが、上下左右きれいに並べ高さをそろえたとき、この仕事や達成感はいだと感じました。以前より左官・土工自体が少なくなり、左官職人も少なくなっていると感じます。左官という伝統技術を継承するつもりで頑張ります。一人前になるまで時間がかかり、厳しい世界だと思いますが、一生懸命に努力して周り信頼される左官職人になりたいと思います。

水門の重要性学ぶ

二宮鉄工・河川学習会 宮富小学校の児童らが行った水門の重要性を学ぶ学習会。二宮鉄工(鶴田陽三社長)は24日、鹿児島市串良町の南水門で肝付町立宮富小学校の児童を招いて河川学習会を実施。参加した児童は、川の仕組みや水門の重要性、災害に備えることの大切さのほか、さまざまな取り組み

みを行っている建設業の役割を学んだ。学習会には同校の5、6年生11人と引率教師、九州地方整備局大隅河川国道事務所の担当者らが参加。教室であった座学

3 高校生に説明会

30日「地元の企業を知ろう」 南九州市は30日、同市の薩南工業高校体育館でハローワーク加世田・指宿、鹿児島労働局との

公共学校施設 木材利用率は75.4%

公立学校施設 木材利用率は75.4% 文部科学省は、2021年度に整備した学校施設の内装木質化の状況を調査した。調査対象は、中学校、高校、特別支援学校などを対象に、木造施設の内装木質化の状況を調査した。調査対象は、中学校、高校、特別支援学校などを対象に、木造施設の内装木質化の状況を調査した。

公立学校施設 木材利用率は75.4% 文部科学省は、2021年度に整備した学校施設の内装木質化の状況を調査した。調査対象は、中学校、高校、特別支援学校などを対象に、木造施設の内装木質化の状況を調査した。

購読料のお支払いはお手軽で便利な 自動振替で 鹿児島建設新聞 099-227-5100へ